

公益社団法人日本獣医師会様向けアンケート集計結果

2020年3月13日（金）

1. アンケート調査の概要

1. 1 アンケート配布数/回収数（獣医師）

	獣医師	
酪農・肉牛	【実施方法】	
	- 貴会会誌に同封して配布。 - FRI宛返信用封筒にて回収。	
	【配布数】	【確認後内訳】*注1
	1591名	[牛]43/66
	【回収数】	[豚]17/66
	133名	[鶏]15/66
	【回収率】	[馬]12/66
	8.4%	

***注1：日本獣医師会から回収したアンケートの集計方法について**

- 日本獣医師会の会誌で送付したアンケートは牛の獣医師だけでなく、他の畜種を診療している獣医師にも送付していることが判明したため、回収した133名の内、「氏名・お勤め先」が判明している66名に日本獣医師会様からヒアリングを行い、診療している畜種を確認した。
- 複数の畜種を診療している獣医師の回答はそれぞれのアンケート結果に反映させた（牛豚鶏を診療している獣医師の回答は牛・豚・鶏それぞれに反映させた）

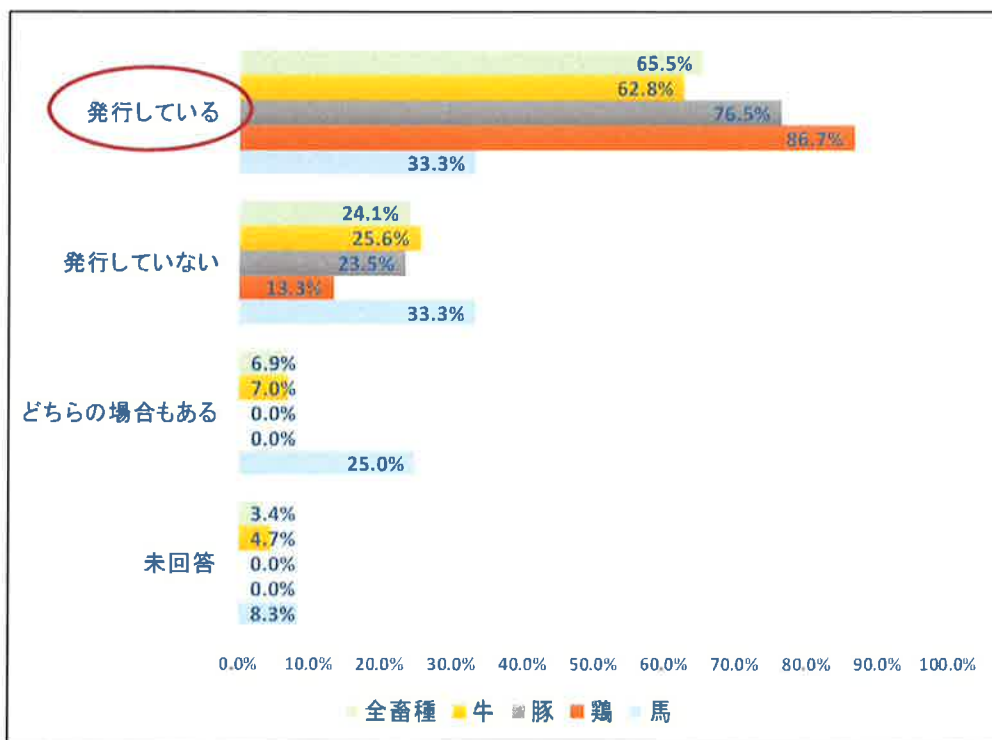
2. アンケート調査の結果

2. 1 指示書の発行状況について

【獣医師】

- 指示書を発行している獣医師は全畜種で65.5%であり、指示書を発行獣医師が多かった。

■ 獣医師

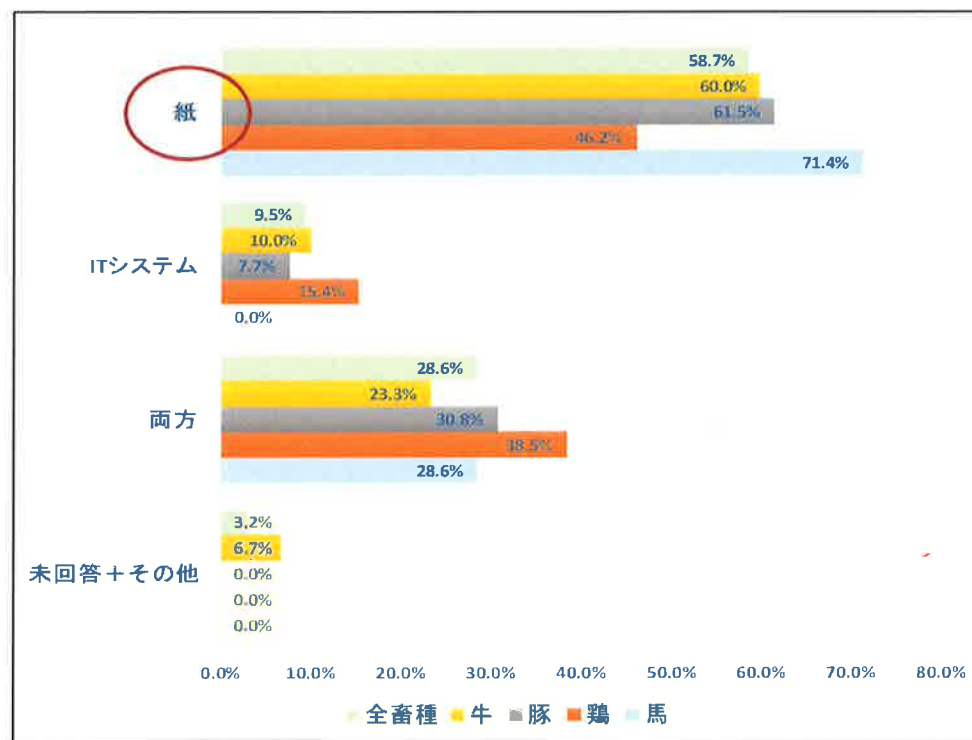


2. 2 指示書を発行している獣医師の投薬情報及び指示書の管理方法について

【獣医師】

- 紙管理している獣医師が全畜種で58.7%で一番多い。
- ITシステムと紙の両方で管理している獣医師が28.6%存在する。

■ 獣医師



2. アンケート調査の結果

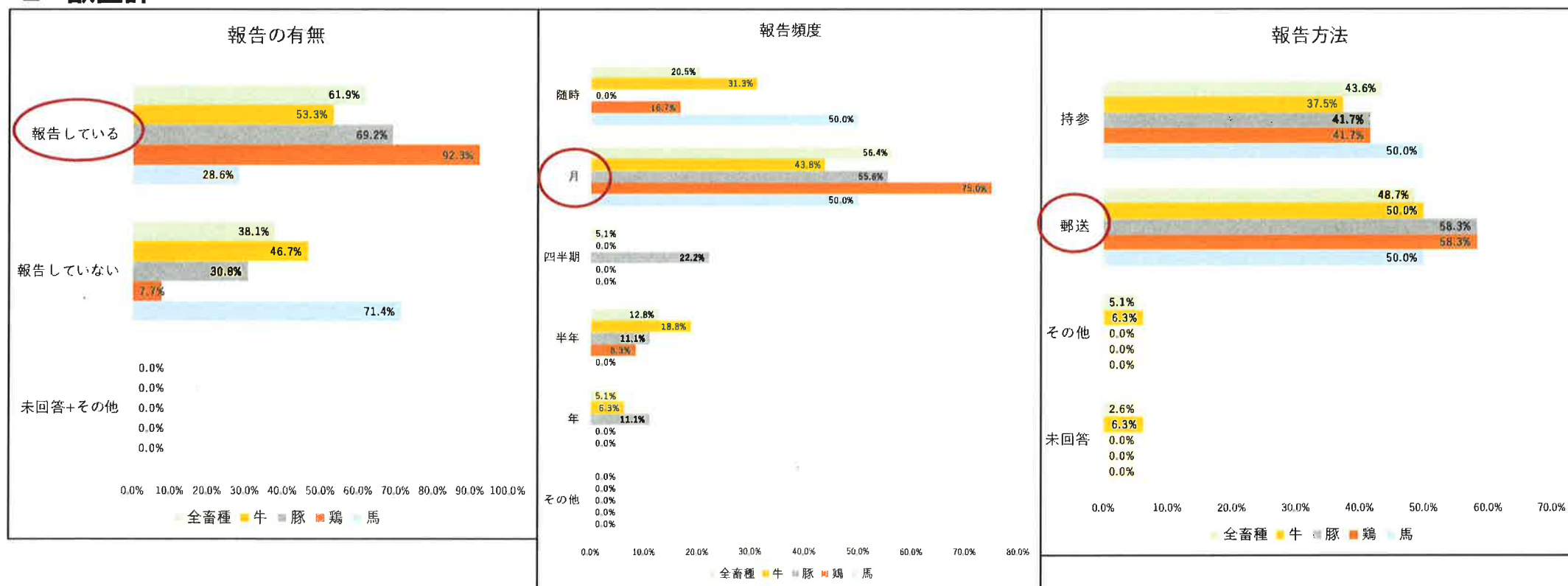
2. 3 指示書を発行している獣医師による指示書の家畜保健衛生所等への報告について

【報告の有無】：獣医師の61.9%（全畜種）が指示書を家畜保健衛生所等に報告している。

【報告頻度】：報告している獣医師の中で、毎月報告している（全畜種56.4%）重一が一番多かった。

【報告方法】：報告している獣医師は家畜保健衛生所等に郵送している（全畜種48.7%）と持参している（全畜種43.6%）が同程存在している。

■ 獣医師



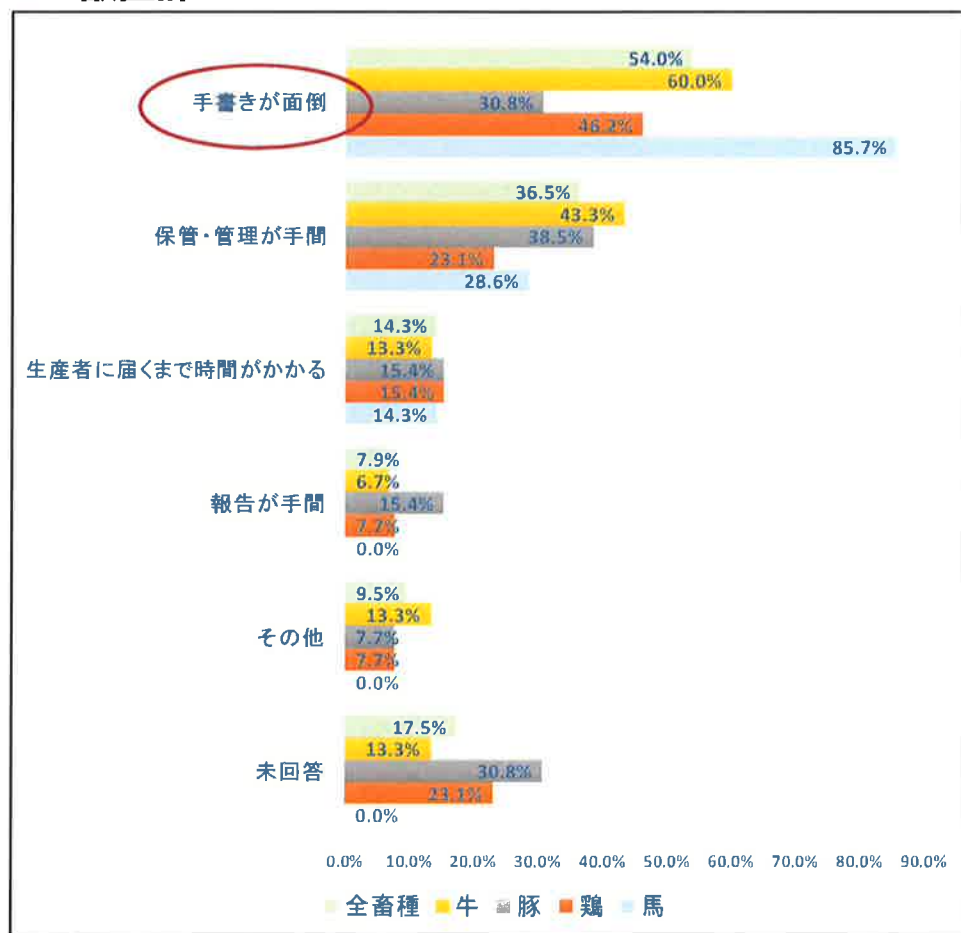
2. アンケート調査の結果

2. 4 指示書を受け取っている獣医師が指示書に関する現場で問題に感じる事について

【獣医師】

- 手書きが面倒（全畜種54.0%）だと感じている獣医師が一番多かった。

■ 獣医師

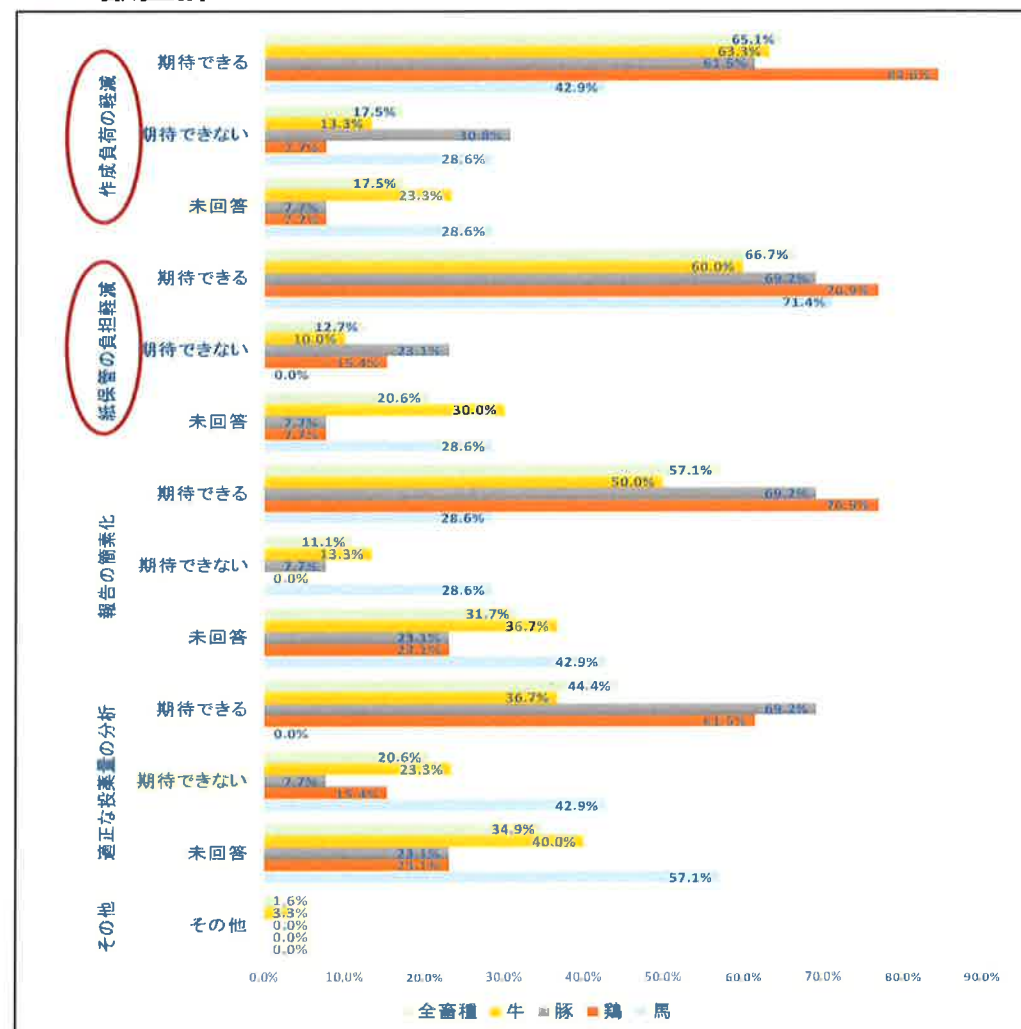


2. 5 指示書を発行している獣医師の電子指示書システム導入への期待について

【獣医師】

- 紙保管の軽減（全畜種66.7%）に次いで、作成負担の軽減（全畜種65.1%）に期待している獣医師が多かった。

■ 獣医師



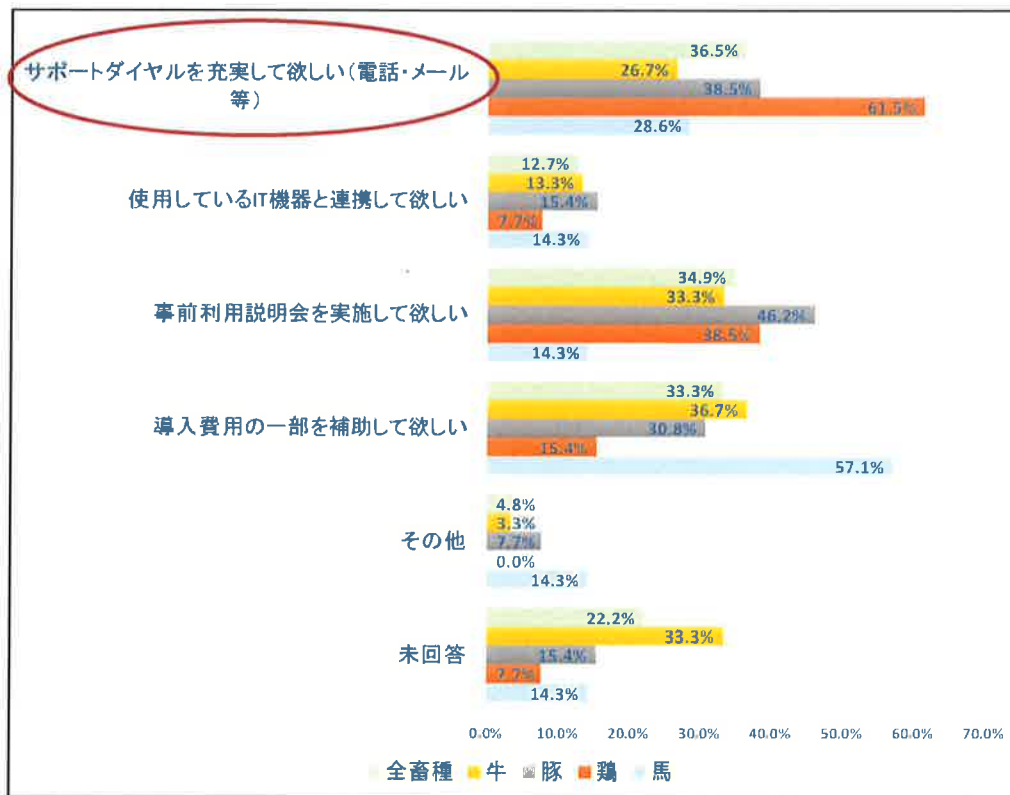
2. アンケート調査の結果

2. 7 指示書を発行している獣医師が電子指示書システムを導入した場合にサポートしてほしい内容について

【獣医師】

- サポートダイヤルを充実してほしい（全畜種36.5%）、事前利用説明会を実施して欲しい（全畜種34.9%）導入費の一部を補助して欲しい（全畜種33.3%）の順が多かった。

■ 獣医師



2. 8 指示書を発行している獣医師が使いやすいと感じる電子指示書システムについて

【獣医師】

- パソコン、スマートフォン、タブレット等で利用できる（全畜種84.1%）との意見が一番多かった。

■ 獣医師

